

クラリスロマイシンDSの苦い経験

1) クラリスロマイシンDSとアイスクリーム

今年11歳になる孫が2歳の頃に近所の耳鼻科医を受診してクラリスロマイシンのドライシロップ剤を処方されました。さっそく1回分を何かのジュースに溶いて飲ませようとしたところ、まずいと言ってぺっぺと口から吐き出す始末。確かに私がなめてみても苦みを感じました。現場を離れると基本的な注意も忘れてしまうものだと痛感した出来事でした。苦みを経験した孫はしばらく同じ薬を飲んでくれないでしょう。そこで閃いたのがアイスクリームに薬を混ぜ合わせる案。練り練りとした少量のバニラアイスに薬を混ぜ込んで食べさせると美味しいと言って食べてくれました。どうやら苦みは緩和されたようです。もちろん孫には薬が入っているとは言わず、これを食べると病気が治る秘密のアイスクリームだよと説明していました。何故「秘密の」にしていたかという少量とは言え1日2回必ずアイスクリームを与える行為が習慣化して娘に怒られるのではないかという不安がありましたから…。

2) クラリスロマイシンDSを凍らせると効き目や苦みはどうか？

先日「m3.com」というインターネットニュースを見ていると同じくクラリスロマイシンドライシロップの話題が掲載されていました。患者さんの親から「水で溶かした薬を凍らせて服用しても大丈夫か？」と相談された事例になります。子供さんが薬を水に溶いて飲むのを嫌って氷だとガリガリと食べるのが好きなための質問なのか、水で溶いたものの飲んでくれなかったために次に利用するための保存のための質問なのか質問の真意は書かれていませんでしたが、そのネットニュースでは凍結した際のクラリスロマイシンの力価の安定性の検索方法が掲載されていたのでその検索方法を共有しましょう。

- ①PMDA(独立行政法人医薬品医療機器総合機構)のホームページの「**医療用医薬品情報検索**」を開きます。画面左側の「**一般名・販売名**」に「クラリスロマイシン」を入力します。
- ②その画面右側の「**特定の文章の記載内容から調べる**」に移ります。⇒「**OR**(いずれかを含む)」をクリックして「**AND**(全てを含む)」を選択します。
- ③その下にある「**検索対象の文書**」の検索項目1の一番上にある項目右の**V**をクリック、「**インビューフォーム(IF)**」をクリックして、さらに「**検索語を入力**」で**凍結**を入力してから画面上の方にある**青地で白字**の「**検索**」をクリックします。すると対応する文書の名所で「**クラリスロマイシン錠小児用/クラリスロマイシンDS小児用10%「タカタ」**」がでてくるのでそこをクリックするとその**IFが表示**されます。
- ④上にあるマークの内の「**虫眼鏡マーク**」を、もしくは「**Ctrl**と**F**を同時に」押すと**検索入力**になるのでそこに**凍結**と入力すると凍結記載のある場所へ移動します。そこを見ると「**-25℃**」で凍結・解凍後も力価は安定していることが分かります(凍結開始前100%、解凍直後100%)。

PMDAのIFの活用方法という記事になりますが高田製薬では水で溶いたドライシロップ剤を凍らせ解凍しても力価は安定しているとしていますが解凍した際の苦みがどうか迄は書かれていませんでした。また東和薬品のIFではDSと3種類の服薬補助ゼリーと混合した結果を出していますが苦みに関する報告はやはりありません。子供は味の好き嫌いも多く、味への我慢も限界があるので個々に応じた対応が大人よりも必要な印象があります。

(終わり)